

宇多田ヒカル／宇多田ヒカル×野田洋次郎(RADWIMPS／illion)対談／いとうせいこう／SKY-HI

Entertainment Live Magazine
ぴあMUSIC COMPLEX
Vol.6

第2特集：
**日本のスゴい
エンタメ**

中田ヤスタカ
菅野 薫

特集：

音楽の言葉

宇多田ヒカルが語る、
言葉の力

宇多田ヒカル×野田洋次郎
(RADWIMPS／illion) 対談

いとうせいこう
日本語ラップの現在
KOHJI／SKY-HI
坂本慎太郎／春風亭一之輔

ぴあMOOK

Chim↑Pomエリイの旅のお供にサキのクッキーを! Vol.6

世界的に活躍中のアーティスト集団、Chim↑Pom(チンポム)、唯一の女性メンバー、エリイが世界中をまわる酔いどれ紀行。今回は「釜山ビエンナーレ」で訪れた、韓国・釜山で大陸ならではの愛のもと、連日連夜繰り広げられた宴を綴る。

エリイ(Chim↑Pom)=文 サキ(Hachiko Project)=クッキー作成

連日ずっと飲み続けて記憶がない。日本に帰っても飲み続いているし、頭の中での場所は「竜宮城」としてカテゴライズされていて実体はもうすでに無いが旅行記を書かねばならぬ。でも、もう覚えてないんだよー涙。しかし、写真を見ながらかろうじて痕跡を辿ることはできる! 因みに私はお酒を飲んで記憶を失うことはほんなく、日常生活の記憶のほうが薄いところがあるので上記には若干の語弊があるので早速訂正しよう。最近めっちゃ忙しいのである。めっちゃ忙しくて考えることがたくさんあるので竜宮城の記憶が薄れてしましました。だからこれを書くの一苦労。なぜ忙しいのかというと、10月15日~31日の間、新宿歌舞伎町の裏路地のビル1棟をまるまる使って、Chim↑Pomで展覧会をするのでその準備で忙殺されているのです。東京にいる方、ソロショウなので絶

対觀に来てほしいです! 地下の、そのまま出て行った飲み屋を片付けて、音楽イベントも考えているのでは非チェックしてね。

因みに今は家族で日光にいます!もちろんホテルのバーカウンターで妹のサキも付き合ってくれて飲みましたよ。しかし閉店が22時半という未知数あふれる早い時間で本当にやかかった。もちろん過ぎましたが、朝までお店がやっていたら、この原稿を落としてしまうところでした。本当にねえ、大変なんですよ、横になって転がっているように見えてもやることがたくさんあるんです。

因みにさっきから言ってる「竜宮城」って言うのは、韓国の釜山のことです。釜山。行ったことあります? 海がサッとあってね、日本でいう鎌倉と熱海の融合みたいな感じで、漁港があってね、超若者には物足りないかもしれないですが、大人になると海あり山ありヌボット



Chim↑Pom作品のふもとで撮影。これは広島に送ってきた10トントラック分の折り鶴で構成されたピラミッド型の作品で、中に迷路のような通路と小部屋がある

した美しい時間が流れていって、ちょうどよいマッタリ感に包まれている
釜山ヤミツキです。

しかし、問題があります。羽田から釜山の直行便が出ていないのです。飛行時間はめっちゃ短いのに成田に行くほうが遠い! そういうのはやめてほしいです! あと、夕方で着くと釜山の渋滞にハマります! 釜山は渋滞さえなければタクシーも安くてスーっとすぐにいろんなところに行きやすいのですが、ハマると時間がかかります。近くで遠い釜山……!

釜山にはなんで行ったかというと「釜山ビエンナーレ」というアートの国際展に選んでいただき、作品を展示しに行きました。はじめのほうは展示の準備で忙しいだろうなあ、と思いメンバーより2、3日遅れて行き、展示が出来上がりつつあるタイミングで到着しました。ソウルからお友達のカミ君も呼びよせておき、10日間の大宴会の始まりです!

美味しいサムギョプサルを食べたり、チムヂルバンに行ったりと定番な感じは普通にこなし、今回の

旅のテーマになったのはマッコリかもしれません。

基本的に釜山の大衆的なお店には韓国焼酎と、ビールとマッコリしかお酒の種類がありませんでした(外国人向けのお洒落なバーとかクラブとかは除く)。殆どの方がジョンウンデという緑色のビンに入った焼酎を飲んでいて、その名前はGOOD DAYを意味するそうです。そして、半分くらいのお店は、マッコリが置いてありませんでした。ジョンウンデは前回釜山に来た時に超大量に飲み続けて展覧会のオープニングに行きはぐるという楽しい思い出がありますが、なぜか今回はあまり飲む気にならず、初日に飲んだくらいでした。マッコリは安くてChim↑Pomメンバーたちと飲むのにピッタリ! しかし、マッコリを飲んでいるとクスっと笑われます。えー、マッコリ飲むの? みたいな反応で、聞いたところによると年輩の方しか飲まないそうです。マッコリありますか? とお店に入って聞くと怪訝な顔をされたりもしましたが、無い場合は近所のコンビニで買ってくれたりと釜山の方たちは



クラブにて。一番前のお立ち台で小指を立てた不思議なダンスをずっと踊る会田誠。首にトイレットペーパーを巻いた



毎度、驚くべきセンスで、エリイの旅先でのできごとを、クッキーでビジュアル化してくれているエリイの実妹、サキ(Hachiko Project)。「今回は、姉が韓国で食べたものをクッキーにしました。韓国というとキムチのイメージがあるので、最初は赤い唐辛子を作りましたが、実際は緑色のもののが多く見られたそうです」とのこと。

本当に優しかったです。同じ展覧会に出展している会田誠さんも到着し、連日の宴会は更に大フィーバーしていくのでした。

今回、重点的に活動したのはヘンデという海岸沿いの町で海が一面に広がる美しいオススメの場所です。東京から女の子の友達が2人、後からやってくるので下を見ておかねばならぬ、と精力的に見て回り、もちろん週末はクラブにも行きました。たまたまいたオーナーの方が日本に来たことがあり日本語が話せたので、シャンパンやフルーツをChim↑Pomにくれたりすごくよくしてくれたのですが、このクラブはよく見るとなぜかほぼすべての男性が上半身裸で、ポールのあるお立ち台には何人も筋肉ムキキの人たちが筋肉を強調しながら踊っています。アルバイトの人たちだろうな、とオーナーに聞いたらお客様さんが自動的にやっているとのことで、友達2人に絶対に見せたいと考えていたのですが、次の週、彼女たちが来た時はどのクラブにも

上半身裸の人たちは発見できませんでした。筋肉の発達具合をみるとやはり兵役が関係しているのだろうな、と20代の間に2年間必ず行く徴兵制に興味があり、出会った韓國の方たちにどんな感じか聞いてみたりして、真夜中のコンビニの前で普通のおばちゃんたちが楽しくテーブルを広げ飲み会している光景も、日本の夜中道端で飲んでるおばちゃんたちはちょっと違う感じで男たちが居ない時の女同士の過ごし方の名残があるのかな、とか若い女の子たちが街中で遊んでいるのを見ても「自立」を彷彿させるエネルギーを感じました。因みにカミ君は文化系男子で、このカミ君も軍隊に2年行ったのかと思うと不思議な気持ちになります。いまでも1年に1回は訓練に行くそうです。徴兵制への飽くなき興味は膨らみ、帰国後すぐに初めて新大久保の韓国バーに行き、兵役について聞いたり教えてもらいました。

ところで、釜山でオススメなのはチャガルチ市場です。海沿いの漁

港でズラっと魚貝物を売っているおばちゃんやおじちゃんがいて、生きてる魚を買ってその場で料理してくれて食べることができます。初めて見る正体不明の動いてる海の生物もいたりして、歩いているだけで満ち足りた気持ちになります。

お店が多すぎて何処に入ればいいのか全くわからないのですが、たまたま日本語ができるおじさんが話かけてきたお店があって、座ってみたら、そのお店のおばさんもおばあさんも、片言の日本語のおっさんもめっちゃよい人で、マッコリをくれたりして滞在中2回行きました。

海沿いのお寺にも行ったり、展覧会のオープニングもアート作品を沢山観れてよかったです。でも帰ってきたバッカリなのに本当に記憶が薄れて、つらい。とにかくお酒を飲むことのみをし続けそれ以外は若干の余興、しかしすべて美しい竜宮城の思い出、としかいいようがないません。最後に伝えたいのは何度も書きましたが、釜山の人たちは本当によい人です。焼肉屋でた

またま隣に座ってるだけで、一緒に飲み続けマッコリを走って買いにいってくれたり、釜山に来てくれてありがとう、と飲み屋に連れて行ってくれる道行く人がいたり、ボテンシャルの高さ、大陸の力強さを人間から感じる旅でした。■



エリイ

現代美術家。2005年に結成したアーティスト集団「Chim↑Pom」のミューズ。結婚をテーマにした写真集『エリイはいつも気持ち悪い』を発売。Chim↑Pomでは、時代のリアルに反射神經で反応し、現代社会に全力で介入した強い社会的メッセージを持つ作品で知られ、世界中の展覧会に参加中。新宿歌舞伎町24時間スタジオ「TOCACOCAN」で番組を配信中。